設定①Acrobat Readerの「起動時に保護モードを有効にする機能」の解除について SAVEネットの予約操作する時、この機能によりPDFファイルが表示されない場合がありますので、 以下の設定をお願いします。

	(1) Acrobat Reader]	を起動後→ メ	ニュー」				
-1-	開<(<u>O</u>)	Ctrl+O					
ł	最近使用したファイルを開く(!)	>	環境設定		④「起動時に保護モードを	有効にする」のチェッ	クをはずす
PDF を	:作成(<u>C</u>)		分類	(G) :			
7	ファイルを結合(<u>B</u>)			スクリーンモード	□ 起動時に保護モードを有効にする(M)	AppContainer で実行(U)	
	別名で保存(⊻)	Shift+Ctrl+S	ペー:	ジ表示 3	保護されたビュー 💿 オフ(0)		
	Word、Excel または PowerPoint	に変換(<u>R</u>)	注新	₹	○ 安全でない可能性のある場所からのファ	HJU(P)	
, ,	ストとして保存(⊻)		Java	Script	- 0 9 × (0) J7 + J/(A)		
八	スワードを使用して保護(<u>W</u>)		アク1 アド1	セシビリティ ビオンラインサービス	拡張セキュリティ		□ カロ7 ドメインログファイル(の 事業)
電子	-サインを依頼(<u>Q</u>)		12	ターネット ルチェック			
ファ・	们を共有		3	<u>ュリティ(拡張)</u>	ビキュリティ特権の場所 セキュリティ設定によってワークフローに悪影響が生じる場合は、	「セキュリティ特権の場所」を使用	
印刷(<u>P</u>).		Ctrl+P	77-	-A	して、信頼する特定のファイル、フォルダーおよびホストを選択し、 ることができます。「セキュリティ特権の場所」を使用すると、作業	、セキュリティ設定の制限を無視す 美の安全を確保したまま、ワークフ	
検索		>	マル・マル・	チメディア (従来形式) チメディアと 3D	□ 一の項ロに言頼(ビリ→ CEま9。 □ 有効な証明書を持つ文書を自動的に信頼する(U)		
切り取り	рШ	Ctrl+X	マル:	チメディアの信頼性 (従来形式) さし (2D)	✓ Win OS セキュリティゾーンのサイトを自動的に信頼する(S)	Windows 信頼済みサイトを表示(T)	
٦ŀ	Ľ−(<u>Y</u>)	Ctrl+C	ものは	さし (3D) さし (地図情報)			
ペース	ŀ(<u>A</u>)	Ctrl+V	ユー・ レビ:	ザー情報 ュー			
1	元に戻す、やり直しなど(U)	>	検索				
表	(W)	>	署名	。 動性管理マネージャー			
o	新しい Acrobat Reader を無効に	する	単位 電子	だ チメールアカウント			
	プラグイン(G)		読み	上げ			
Ľ	ウィンドウ(D)	>			ファイルを追加のフォルダーのパスを追加の、ホス	ストを追加(円)	割除の
-		>					(1)-1945(1)
	 壃	Ctrl+K			保護されたビューとは? 拡張セキュリティとは? セキュリティ特	権の場所とは?	
-278	/768XAL(11/111	Curric				(b	ОК † †>
	文書のプロパニノ()()	, Ctrl+D					
	スロッノロハナ1(10)…	Ctrl+D					
	アノリソーンヨノを総丁(二)	Ctri+Q					1

X

設定②Acrobat Readerの「最近使用した文書にリストする数」の変更について SAVEネットの予約操作する時、この機能によりPDFファイルが表示されない場合(または、表示が遅い場合) がありますので、以下の設定をお願いします。

1	1 Acrobat Reader	を起動後→「	メニュー」			
	開<(<u>O</u>)	Ctrl+O				
📕 Acrot	最近使用したファイルを開く(!)	>				
	PDF を作成(<u>C</u>)		^境 現定		×	
最近使用し	ファイルを結合(B)		分類(G):	開き方の設定		
フターなき	別名で保存(V)	Shift+Ctrl+S	ノルスクリーンモード ページ表示	□ 文書を再び開くときに前回のビュー設定を復元(R)		
X7 196	Word、Excel または PowerPoint	こ変換(<u>R</u>)		□ 1000パイルへのリンクを回しりイントワで開く(C)		
Adobe /7	テキストとして保存(V)		文書		の非表示化を許可いの	
Adobe	パスワードを使用して保護(<u>W</u>)		3D とマルチメディア JavaScript	品が使用した文書に以てもする数(n)・100		
自分のファイ	電子サインを依頼(<u>Q</u>)		アクセシビリティ			
スキャン	ファイルを共有		インターネット	(4)	「100」から「30」に変更	
白公がせた	印刷(P)	Ctrl+P	セキュリティ	※ Acrobat Reader DCの起動時に		
	検索	>	セキュリティ (孤張)		履歴を表示するパソコンの負荷軽減	
他のユーザ-	切り取り(工)	Ctrl+X	フォーム マルチメディア (従来形式)	✓ 又書の変更を一時ノアイルに自動保存する間隔(T):	: 5 分(1~99)	
	⊐ピ−(Y)	Ctrl+C	マルチメディアの信頼性 (従来形式) ものさし (2D)	✓ Web 表示用に最適化して保存(A)		
契約書	ペースト(<u>A</u>)	Ctrl+V	ものさし (3D) ものさし (地図情報)	PDF/A 表示モード	_	
すべての契約	元に戻す、やり直しなど(U)	>	ユーザー情報	PDF/A モードで文書を表示(M): PDF/A 文書のみ 🗸	×	
	表示(<u>W</u>)	>	検索			
他のファイノ	新しい Acrobat Reader を無効に	する				
マイコンピュ・	プラグイン(<u>G</u>)					
	ウィンドウ(<u>D</u>)	>	電子メールアカリント 読み上げ			
ファイルスト	o 11 77(1)	>				
(2)	環境設定(<u>N</u>)	Ctrl+K				
	C1 - 277 1	>			(5)	
	文書のプロパティ(<u>M</u>)	Ctrl+D				
	アプリケーションを終了(<u>C</u>)	Ctrl+Q			OK = キャンセル	

設定③Acrobat Readerの「アップデート」と「インストールの修復」について

- ・定期的に「アップデート」がリリースされており、様々な問題が解決する可能性があります。
- ・動作が不安定になったり、一部機能に問題が発生したりする場合は、「インストールの修復」することにより問題が解決する可能性があります。

	 Acrobat Reader」 	を起動後→「メ	ニュー」	
= X_1-	開<(<u>O</u>)	Ctrl+O		
Acrot	最近使用したファイルを開く(1)	>		
	PDF を作成(<u>C</u>)			
最近使用し	ファイルを結合(<u>B</u>)			
フター付き	別名で保存(V)	Shift+Ctrl+S		
X2 196	Word、Excel または PowerPoint (こ変換(<u>R</u>)		
Adobe 7	テキストとして保存(V)		[·
Adobe y	パスワードを使用して保護(<u>W</u>)		Associate Decides All T(1)	
自分のファイ	電子サインを依頼(<u>Q</u>)		Acrobat Reader ()()(H)	インストールを修復」の場合は、
スキャン	ファイルを共有		Acrobat Reader チュートリアル(T)	1 ンストールを修復」を選択伎、 宇族の右毎のウインドウで
白分が共有	印刷(P)	Ctrl+P		天地の有点のフィントンで
	検索	>	フィードバックを共有	
他のユーザ-	切り取り(工)	Ctrl+X		
	⊐Ľ-M	Ctrl+C	Adobe Acrobat Reader (こついて(<u>A</u>)	「アップデート」の場合は、
契約書	ペースト(<u>A</u>)	Ctrl+V	Adoba プラガインについて(P)	アッフテートの有無をチェック」を選択後、
すべての契約	元に戻す、やり直しなど(U)	>	Adobe 7 774 7(C 7 V C (F)	新しいハーションが利用可能でのることが表示された場合
	表示(<u>W</u>)	>	システムレポートを生成(5)	
他のつい	新しい Acrobat Reader を無効に	<u>वे</u> ड		
R 13 (2)	「ラグイン(<u>G</u>)		インストールを修復(E)	
		>	マッゴブートの左便ナゴールから	
ノアイルスト	ヘルプ(L)	>	アッファートの有無をナエック(し)	
•		Ctrl+K		
	セキュリティ	>		-
	文書のプロパティ(<u>M</u>)	Ctrl+D		
	アプリケーションを終了(<u>C</u>)	Ctrl+Q		0

設定④ **€** Edge(ブラウザ) ポップアップブロック機能とは、不要な広告画面の立ち上げを制御する機能です。 この機能により、画面が表示されない場合があります。 ポップアップを許可する設定をお願いします。

